血小板凝集能	290000
	担当部署
PLT Agg	血液

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		・採血後 3 時間以内に測定を実施する ・採血した血液及び血漿の保存は、プラスチック容器又はシリコンコーティングガラス容器を使用する ・室温にて蓋付き容器に保存する ・薬剤（化学療法薬、クロラムフェニコール等）
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	空腹時採血。血液採取の少なくとも 2 時間前から、コーヒー等カフェインを控え、運動、喫煙は避けること。 採血時間が長くかかると血小板が活性化し、測定に影響する。
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	3 黒大	3.2%クエン酸 Na	3.6000000000000001	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温、採血後すぐに搬送
検体受入不可基準	1）採取容器違いの検体

	2）凝固検体 3）採血量過不足の検体 4）サンプリングできない検体
保管検体の保存期間	保存不可

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	当日中
生物学的基準範囲	ADP 凝集：40～80%、コラーゲン凝集：40～80%、エピネフリン凝集：40～80%、リストセチン凝集：40～80% EX 共通 CL1141：「臨床検査法提要　改訂第 35 版」
臨床判断値	設定なし

基準値				単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		血管損傷部位では内皮下組織のコラーゲン、崩壊した細胞由来の ADP などの血小板刺激物により血小板が活性化され、粘着、凝集して血栓を形成する。血小板凝集能検査ではクエン酸ナトリウムで抗凝固した多血小板血漿(PRP)に、上記のような血小板凝集惹起物質を添加し、凝集能を測定するものである。本検査は特に血小板機能異常症の診断に有用である。 EX 共通 CL1141：「臨床検査法提要　改訂第 35 版」 394-396